

みんなみんな
大切な命

命の大切さを学ぶ取り組み 赤ちゃんとの『ふれあい会』(後期) が開催されます!

赤ちゃんとの『ふれあい会』は、ボランティアグループ“ぶろじえくとえん”のお手伝いのもと岩美高校福祉コース1年生、岩美中学校2年生、町内各小学校5年生を対象に開催しています。この10月には、一部の学校で、後期が開催される予定です。

誰もが赤ちゃんでした。今こうして存在しているのは、周りの人達のたくさんの愛情を受けてきたからです。周りの人達は、あなたが小さかった時、日々成長する姿に喜び、応援してくれました。病気をした時、心配してくれました。いっぱいいっぱい遊んでくれました。赤ちゃんとのふれあい、保護者の方の話を聞くことで命の大切さを実感する取り組みが“赤ちゃん『ふれあい会』”です。



ぶろじえくとえん代表
西浦 公子さん

前期(6月~7月開催) の様子



生徒の感想

- ・赤ちゃんを抱っこしてみても予想していたよりも重たくて、なんだか温かったです。すっごく赤ちゃんの肌はもちもちしていたし、ミルクのにおいがしました。
- ・赤ちゃんをあんまり抱っこしたことがなくて、抱くのが難しかったけど、とてもかわいかったです。
- ・赤ちゃんはしゃべれない分、言葉で伝えるのではなく、ジェスチャーで伝える、自己主張するんだなあということを知った。
- ・私は、「私も昔は、こんな風だったのかなあ。」と思いました。赤ちゃんは人の体にふれているときに、安心するんだなあと思いました。

募集!!

3歳未満のお子様がいらっしゃる方で赤ちゃんとの『ふれあい会』にご協力していただける方を募集しています。

後期の開催について

開催場所	日 程
岩 美 中 学 校	10/8(水)、15(水)、22(水)、27(月)
岩美西小学校	10/24(金)
岩 美 高 校	10/29(水)

開催時間はお問い合わせください。

3年前から始めていますが、生徒がすごく良くなりました。まず、子どもとかかわるためには笑顔を出さなくてはなりません。笑顔を出すことによって、あいさつができるようになります。ふれあうことによって役立ち感を養うことができます。役立ち感は自己肯定感につながり、自己肯定感は自己存在感につながります。少子化が進み、兄弟姉妹が減少している現代にこの活動は大変良いと思います。

学習の
効果は…



岩美中学校長
戸田 倫弘先生
(代表して答えて
いただきました)

問い合わせ先 | ボランティアグループぶろじえくとえん ☎72-8600